

「あなたが汗をかきなさい」と言われた十数年前のあの日のことは今でも忘れられません。

ダウン症のある娘を授かったときに入手した本の一冊に、藤田弘子著「ダウン症児の赤ちゃん体操―親子で楽しむふれあいケア」（メデイカ出版）がありました。ダウン症の赤ちゃんの発達を促す体操プログラムです。

赤ちゃん体操は当時、岡山で受けることができませんでした。そこで思い切って兵庫県立塚口病院（現兵庫県立尼崎総合医療センター）の小児科医だった著者の藤田先生にお電話したところ、生後3カ月の娘を連れて毎月、病院のある兵庫県尼崎市まで岡山から新幹線で通うことになりました。

赤ちゃん体操指導員

院内教室に集まっているのは、当然みんなダウン症の赤ちゃんでした。それまでダウン症のある赤ちゃんとの出会いは少なく、孤独でした。それが赤ちゃん体操の教室では、たくさんのママたちと普通にお話ができ「あっ、これが赤ちゃんを育てるママ同士の会

一日一題

話だわ」とうれしくなりました。

2年ほど通った体操教室を卒業してしばらくした頃、藤田先生が「赤ちゃん体操指導員養成講座」を創設されました。関心はあったものの、次女が生まれて手がかかっていたので、しばらく様子を見ようと考えていました。

上地 玲子

山陽学園大准教授

そんな折、赤ちゃん体操指導員養成講座の申込用紙が届きました。申し込んだはずはないのにと思っていたら藤田先生から電話がかかってきました。そこで告げられたのが冒頭のフレーズです。「上地さん、あなたが岡山で汗をかきなさい」。

雷に打たれたような衝撃を受けました。「そうか、岡山で受けられないと諦めていたけれど、私が赤ちゃん体操指導員の資格を取得して皆さんに提供したらいいのか」と。思いもかけない発想でした。

資格を取り、岡山で赤ちゃん体操が受けられる環境を整えることができました。一生懸命にかいた汗が報われた気がしています。

2023・12・19